

Q 外国人のクセ毛みたいな大きなカールが欲しかったのに、強くかかりすぎてクルクルになって困ったのですが。



A 外国人のクセ毛のような、ゆるやかに弾むようなしっかりしたカールは憧れです。ゆるくかければ取れてしまうし、強くかければクルクルになってしまっ、思うような仕上がりにならなかったという経験のある人も多いと思います。エアウェーブなら、憧れのスタイルも手に入ります。



Q どうしてもペしゃんこになってしまう軟毛なのですが、エアウェーブで軟毛にもいいんですか？

A エアウェーブの特長の1つは、根元の立ち上がりがあるといっても過言ではありません。毛髪を根元からロッドに巻け、パーマのもちもいいので、軟毛の方や髪にボリュームの欲しい大人の女性の方にも、とってもおすすめです。

Q 施術時間は長くなるのですか？…。

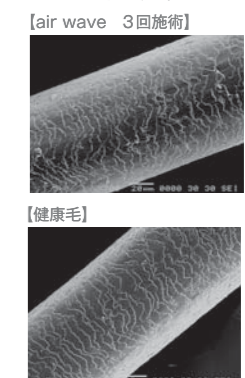
A 一般的なパーマ施術時間に加え、エアウェーブに入っている時間が必要になってきますので、施術時間は合計30分程度長くなってしまいます。ただ、そのエアウェーブに入っているときこそが、毛髪内の物質が動いてウェーブを作り記憶している時なのです。柔らかくツヤやかなウェーブをつくる時間だと思って期待して過ごしてくださいね。



Q エアウェーブって髪が傷まないってホントですか？

A 毛髪の中にある物質(コルテックス)が動くことによってウェーブをつくり(形状記憶させ)、同時に髪表面を被っているキューティクルも整ってきますので、エアウェーブで施術しても、損傷はあまり見られません。普通ならパーマ後の髪はごわつく感じがしますが、エアウェーブだと、かけた後の方が柔らかな手触りになったといわれる方もいらっしゃいます。

キューティクルの状態
air waveを3回施術した髪のキューティクルの状態を見ると、健康毛とほとんど変わらないことがわかります。



電子顕微鏡写真

エアウェーブ air waveって、ナニ？

いま話題のエアウェーブを徹底研究。

しなやかな質感、髪にやさしく繰り返しかけられる、そして、思い描いたシルエットが長持ちする…。そんな理想のパーマをめざし開発されたair wave。従来のパーマのイメージを覆すといわれる仕上がりを実現、「コールドパーマ」「ホット系パーマ」に続き、第3のパーマともいわれるair waveの魅力、その原理とともに探ってみました。

Q デジタルパーマと、どう違うのですか？

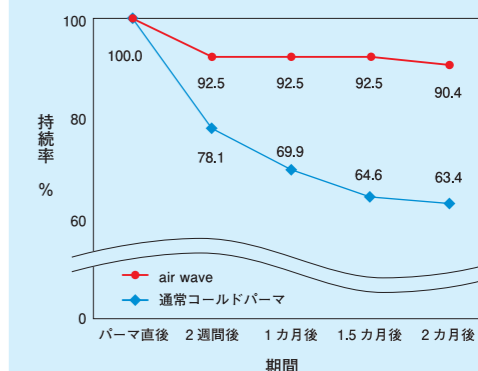
A デジタルパーマは70℃以上の熱によりウェーブをつくりますが、エアウェーブは約50℃程度の温風を用いますので、温度による毛髪損傷の心配がありません。デジタルパーマの仕上がりは、硬い感じのするしっかりした巻き髪になりますが、エアウェーブはどちらかといえば、柔らかくしなやかな外国人のくせ毛風のナチュラルウェーブが得意です。ただし、エアウェーブでも、スタイリングの方法によってはデジタルパーマのようなバリエーションを楽しむことができます。

Q パーマのもちがいいって聞いたんですが。

A はい。毛髪内の物質がウェーブの形を記憶するので、ゆるやかなウェーブでもしっかりと美しいデザインを保ちます。

■持続性試験

パーマ直後のウェーブを100として経時処理後のウェーブ効率を百分率でグラフ化、air waveの場合、コールドパーマに比べ2カ月後も実に90%以上の持続率を維持している。(タカラヘルモント調べ)



エアウェーブ 第3のパーマ——air wave、誕生。

パーマの仕組みを分子レベルから見直し、クリーブとガラス化(毛髪の中にある物質「コルテックス」の移動と固定)という状態変化に着目、そこから導き出した原理をパーマプロセスに応用することで、「新・形状記憶」を完成させました。くり返しかけられる、しなやかな質感のパーマ。そんな憧れをカタチにしたのが、第3のパーマ「air wave」です。

www.airwave.bz

■基本プロセス

